

従業員への取り組み

ダイバーシティへの取り組み

当社では、従業員一人ひとりが能力を発揮でき、働きがいを感じられるような職場環境の構築を目指した、ダイバーシティ推進に取り組んでいます。例えば、育児と仕事の両立を支援する地域限定職制度や時短勤務制度の導入、女性・シニア活躍促進のための研修実施、LGBTQへの理解浸透など様々な施策に取り組んでいます。また各部署へエンゲージメントアンバサダーを設置し、従業員の意識改革や働きがいのある職場環境の整備を実施しています。こうした取り組みを通して、多様な人財が働きやすく、仕事へのやりがいを持つような環境の構築を目指しています。



て利用できるカフェテリアプランの導入^{*}、産業保健スタッフとの連携・保健室設置といった従業員支援プログラムの強化など多様な活動を展開しています。



※加入対象となる従業員に毎年ポイントを付与し、付与されたポイントの範囲内であらかじめ定められたメニューを選択利用できる福利厚生運用方式

健康経営の取り組み

当社では、経営基盤を支える従業員とその家族の健康保持および増進を図るため、代表取締役社長を健康経営最高責任者として選任し、「健康経営宣言」に基づき、健康経営を推進しています。また経済産業省・日本健康会議が共同で主催する「健康経営優良法人2025（大規模法人）ホワイト500」に2024年から2年連続で認定され、「健康経営優良法人」への選定は6年連続となります。



従業員満足度向上に向けた取り組み

当社はお客さま満足度の向上だけでなく、従業員満足度の高い職場環境の実現に向けて取り組んでいます。産休・育休などライフイベントと仕事の両立支援を通じたワークライフバランスの実現、資格取得やスキル向上を支援する通信講座の提供、年度表彰制度やサンクスカードアプリの活用、メンター制・社内インターン・公募といった自律的なキャリア支援、ライフスタイルに合わせ

全従業員の心と体の健康をサポートする職場づくり

人事総務部では、従業員が心と体の健康を保ちながら生き生きと働けるような職場環境づくりを目指し、従業員のエンゲージメント向上施策や健康促進に向けたイベントの企画運営を担当しています。ダイバーシティに関する様々な分野の知識が身に付くため、知見が広がり自己成長を感じることができます。従業員が最大限の力を発揮できる環境を整備していく企画を検討していくことは容易ではありませんが、周囲の上司や同僚のサポートを受けながら、一つひとつの課題を解決していくことは、従業員・会社に貢献できる大きなやりがいに繋がっています。



数字で見るSMBCCF

2025年3月末時点

従業員数

1,989名



平均年齢

44.2歳



有休取得率

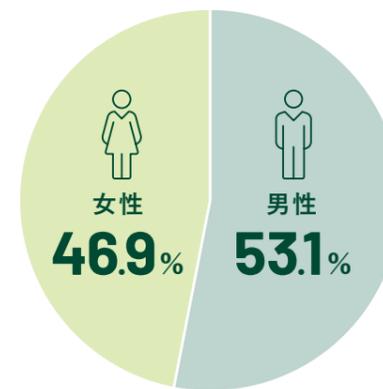
77.7%



男女育休取得率

110.0%

(女性育休取得率105% / 男性育休取得率115%)
※出産時期は、当該年度以前も含む
※育休取得率には、育児休業および育児休暇の取得含む



管理職に占める女性従業員の割合

19.9%



主な拠点

4カ所

東京(豊洲・東陽町)
大阪(京橋)
福岡(呉服町)



※他地域+海外拠点あり

公募での部署異動社員数 2025年4月時点

年度	社員数
2023年度	38名
2024年度	20名
2025年度	33名